

「BOOKFOREST~おはなしの森~」プロジェクトについて（まとめ） ～学校経営推進費を活用しての図書室の取り組み3年間～

1. はじめに

改修前の図書館は、位置的には学校管理棟内の肢体不自由課程ほどの学部も通るメイン廊下に面してあるものの、広さは59㎡と一教室と同じ程度の大きさ、部屋の中央に大きな柱と図書の貸し出し用の大きなカウンター、車椅子の生徒にとってゆったりと本を読むスペースがない使いづらい部屋だった。

蔵書も、開校当時に購入した図書がほとんどを占め、児童生徒の実態に合った教材として提供できる絵本や視聴覚教材は少なく、児童生徒からも「新しい本を買ってほしい。」教員からも「絵本の充実を。」と言う要望が毎年のように出されるのであった。別途、大阪府教育コミュニティづくり推進事業の予算で(ボランティア活用事業)大型絵本等は40冊程度購入し充実させてはきたが、それを配架するスペースもなく無造作に置かれている状態であった。

よって、図書室が本来の図書室の機能として学習に使用されることはほぼなく、懇談での使用、個別学習の教室の確保として、その他に使える教室がないので図書室という使用が大半であった。

図書室の管理事態は教務部庶務係が、2週間に一度の図書の児童生徒への貸出業務は生活指導部の児童生徒会係がという係分担で、図書室の運営を行い、現図書室の利用状況調査、不要な書籍の整理、蔵書のリスト作成を実施し、蔵書管理・貸出管理システムの構築を工夫はしていたが、活用しやすい場所にあるにも関わらず図書を借りに来る児童生徒も少なかった。

図書室は、さまざまな障がいの状況に即した設備・環境が整わず、蔵書数も基準に満たない状況にあり、読書活動の推進による児童生徒の主体的に生きる力の育成を図るためにも基礎的環境の整備が大きな課題となっていた。

現在の図書室の紹介

蔵書数：3177

学校司書の有無：無

勤務形態：なし

司書教諭の有無：有

教育目標・読書活動に関する目標、標語など：

1 学校教育活動の方針

「強く、正しく、明るく」をモットーに将来社会の一員として、生きがいを持って生きることのできる活力に満ちた人間を育成する。そのためには、児童生徒の障がいや発達の状態、特性に応じた適切な教育を行い、全人的な発達を図ることを基本として「一人ひとりの児童生徒の障がいや発達の状態に応じた最も必要で適切な教育の創造」の実現に向け、教職員が一丸となり取り組む。

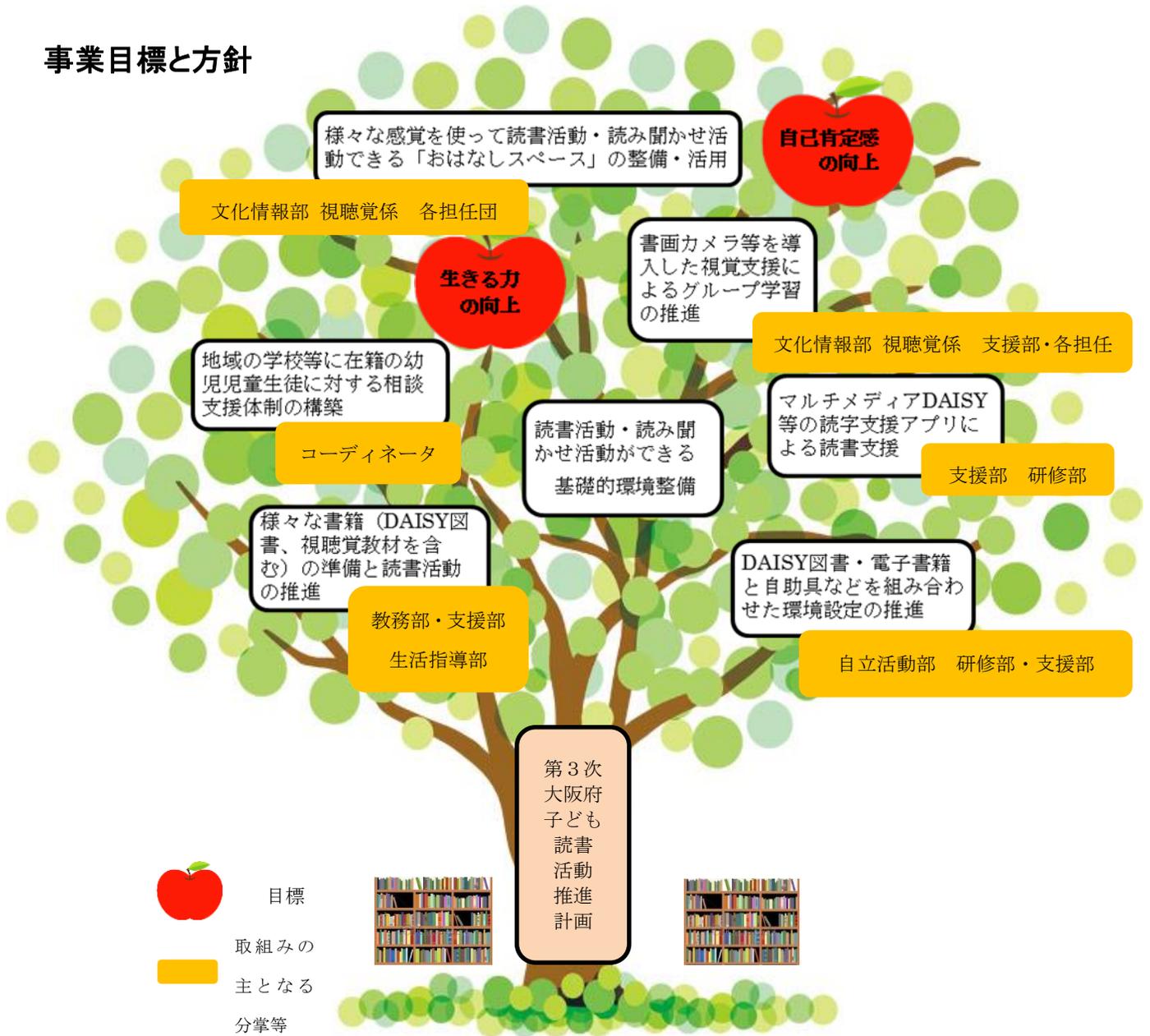
2 学校図書館の利用指導および読書指導計画

(1) 図書の充実に努める。

(2) 児童・生徒会活動に図書係を設け、会報を発行して図書の紹介をするなど生活指導部との連携で児童・生徒の図書室活用を図る。

(3) 学級における指導のほか、家庭での親子読書の指導・援助を図り、読書意欲を高める。

事業目標と方針



3. BOOK FOREST ～おはなしの森～ プロジェクト始動

(1) 種を植える：1年目の取り組みとして(平成28年度)

学校経営推進費が活用できる事が決定し、まず、計画を実現化するにあたり、6月に大阪府立中央図書館からアドバイスを受け、8月には、既に図書館システムを導入してる大阪府立東住吉支援学校の図書室を視察し、図書館システムを導入の実際を聞いた。

①他機関との連携

●大阪府立中央図書館

障がい者支援室・子ども支援室の担当者に改修に向け以下のアドバイスを受ける。

1. 障がいのある方の施設設備に関する配慮について (室内環境・色・照明等)
2. 図書の配置 (レイアウト) の仕方
3. お勧めの絵本・デージー図書・DVD等のリスト

4. 蔵書管理の方法について（貸し出し業務・ネットワーク等）

5. デイジー図書に関する研修や読み聞かせ研修の案内

●東住吉支援学校

図書館システムを導入している学校を訪問し視察と以下のアドバイスを受ける。

1. バーコード管理の導入について
2. 図書室の蔵書管理や貸出業務について

②分掌での取り組み(教務部庶務係)

6月 ①作業日程について検討 *図書室移動は7月21日午前・22日
(移動は、旧家庭科室)

②廃棄する書籍の基準を検討

③購入図書について

中央図書館よりのアドバイス 各学部・課程よりの要望より

7月 ①廃棄処分とする書籍のチェック (以降継続)

②蔵書の整理について

夏休み期間

7月21日(木)午前 22日(金) 全日 図書・書架の移動

※蔵書の整理を行う。

①廃棄書籍の決定および廃棄 (事務室)

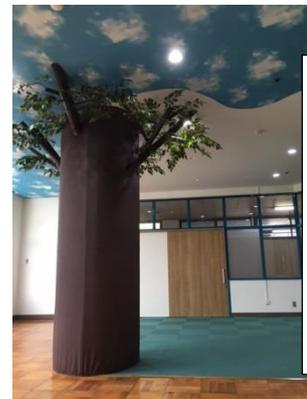
②蔵書の整理および購入図書の整理 *バーコード? リスト作成?

③新図書室での書籍レイアウトの検討

8月1日(月)～19日(金) 図書室の改修工事が始まる。



工事中の写真：柱が少し



改修終了!

購入した書架を設置、書籍の整理・配架

10月 図書館システム導入 書籍にバーコード貼付および蔵書リスト作成、利用者リスト作成

冬休み期間

書籍再整理

3月 蔵書リストの作成、蔵書管理・貸出管理システムの構築について完了



シンボルツリーも飾り
付けられました。
「みんなお話の森に
集まれ〜！」

配架も終了し、
BOOK FOREST
～おはなしの森～
の形が出来上がって
きました！

○中央図書館との連携



～新図書室お披露目会を開催

昼休み お話の会の開催（児童生徒 約 25 名と教員が参加）学校図書館「BOOKFOREST～おはなしの森～」絵本読み聞かせの会を行いました。今年度、学校経営推進費を活用して学校図書室の改修を行い整備をしてきました。新しい、たくさんの絵本が入りました。DVD やデージー図書も入りました。みんなが集って読書を楽しむことができるようになりました。1 月 26 日（木）に大阪府立中央図書館から読み聞かせに来ていただき、お昼休みにおはなしの会を行いました。全学部から給食を食べ終えた子どもたちや先生が集まり、図書室は満員になりました。今回は「大きなかぶ」のエプロンシアターと大型絵本 2 冊を読んでいただきました。

1 月 26 日（木）校長プロ

(参考)購入した物品について

○書籍関係

絵本	543
┌ 日本のお絵本	┌ 254
├ 外国のお絵本	├ 156
├ 知識のお絵本	├ 99
└ しかけお絵本	└ 34
DVD	33
デイジー図書	106

○書棚等

雑誌架	1
片面傾斜書架 3段	4
片面傾斜書架 2段	2
ブックトラック	2
大型お絵本専用棚	1

○視聴覚関係

プロジェクター	1
プロジェクタースクリーン	1
スピーカー	1
2Uパワーアンプ	1
アナログミキサー	1
ケーブル	2

○ICT関連

タブレット端末	4
iTunes カード	4

○その他

パネルシアターステージ	1
お気軽図書館6 (蔵書管理システムアプリ)	1
バーコード、スキャナー	1

(2)芽がでる：2年目の取り組みとして(平成29年度)

①生活指導部 児童生徒会係りの取り組み

○ 図書室の開館日(貸出日)について

開館日には12:40に児童生徒会より放送が入る。



児童・生徒会よりお知らせします。本日12時50分より図書室をひらきます。本を借りたい人は、図書室にきてください。

H27年度は児童生徒会による貸出が2週に1回 ⇒ H29年度は毎週になる。

図書館システムの導入に伴ってバーコードによる図書の貸出を開始した。児童生徒も教員の補助でパソコン操作を行った。貸出業務に意欲を持って参加していた。



図書館 本日 開いています！！

時間 12:50~13:10



みんな、たくさん本を読もう！

②授業時間における図書室利用



(小学部授業風景)
天井投影



(中学部授業風景)
デージー図書での読書



(高等部授業風景)
自由読書

③大阪府立中央図書館との連携

○特別貸し出しセットや展示セットを定期的に貸出協力を利用した。

- 1 学期：環境セット(動物)と乗り物セット
- 2 学期前半：芸術関係セットとスポーツ関係セット
- 2 学期後半：クリスマス、世界の国々のセット



環境セットは電気自動車で配達されました。生徒が受け取り、電気自動車の話を聞いています。



<読み聞かせ学習会内容>

- 1 ミニおはなし会 …子どもになってお楽しみください♪
- 2 読み聞かせについて
- 絵本とは? ● 読みきかせとは? ● やってみよう!
- 3 おはなし会のプログラムのたて方
- 4 おはなし会のあれこれ
- 5 絵本の紹介
- 6 図書館の活用
- 7 ブックリストの紹介

<デイズ図書学習会内容>

1. マルチメディア DAISY 図書とは?
 2. 活用している人たちは? どのような生徒に有効?
 3. マルチメディア DAISY の仕組み
 4. マルチメディア DAISY の作り方
 5. マルチメディア DAISY を使う (読書の仕方)
- ◆実際に使ってみましょう

(参考)

学習会アンケートまとめ

第一部 読み聞かせ学習会 (参加 28名)

- ・読み聞かせのコツを教えていただき、これからの参考にしたい。
- ・自己流でやっていましたが、教師はどうしても身ぶりや口調が大げさになってしまったり、つい話の途中で設問を発したり、読み終えて感想を聞いてしまっていたことがマイナスだとわかりました。反省・・・
- ・ワークショップはとても勉強になりました。2学期から実践したいと思います。
- ・言われてみれば当たり前の配慮点だけど、ついつい見落としてしまうような細かい部分や工夫など、とても参考になりました。
よりたくさんの素敵な本を子供達に繋いでいく為にも、私ももっとたくさんの本を知りたいなと思いました。
- ・はじめに読んでくださったのをごく自然に見ていましたが、実際やってみるとグラグラしたり本

の持ち方がこんなに難しかったとはビックリでした。

鏡に向かって練習されるとか、100回は読みこなしてから、とか、身の引き締まる思いです。たかが絵本、されど絵本ですね。

- ・改めて絵本の面白さを感じました。読み聞かせのポイント等も教えていただき、しっかり絵本をよみこんで実践してみたいと思いました。
- ・初歩的などころから教えていただき、とても参考になりました。本のリストがあり、あとで読みかえすのに役立ちました。
- ・本を持つ位置や体の位置等、分かっているようで分かっていなかった部分を教えて頂いて良かったです。読む時のトーンや表現方法も教わることができ、今後にいかせようと思いました。
- ・興味をひきやすいような絵本の紹介をしてもらえてよかった。
- ・とてもわかりやすく、若い先生たちもたくさんきていたのでよかったと思いました。
- ・今まで「お話の会」に子どもと参加したことがありましたが、実際に生徒に読み聞かせをする時の注意点がよくわかりました。

第二部 DAISY 図書学習会 (参加 20名)

- ・学校の図書館に色々そろっているので活用していきたい。今まであまりよく知らなかったの。
- ・実際に iPad で DAISY の体験ができてよかった。
- ・DAISY の存在は知っていましたが、実際にどのようなものなのか、どのように応用するのか等を分かっていなかったの、今日教わったことで生徒たちに応じた使い方を検討し、授業に取り入れようと思いました。
- ・使用法だけでなく、意義や問題点も聞けて勉強になりました。
- ・はじめて使用しました。まだ授業に使うイメージはできませんが・・・
- ・ずっと興味があったので、わかりやすく説明がきけてよかった。担当している生徒に使えるそうだし、市の図書館で借りてみようと思いました。
- ・初めてさわりましたが、今後どのように活用できるかを考えていきたい。
- ・課題がたくさんあるなと思った。実際、授業でどのように使用できるか・・・

○PTA 学習会「図書について」11/22

1. 絵本の読み聞かせについて
2. デイジー図書について
3. 本校図書室見学

(3) 木が育つ：3年目の取り組みとして(平成30年度)

① デイジー図書の貸出について

CD版で購入したものも100本程度あったが、伊藤忠記念財団より毎年提供いただく「わいわい文庫」のうち200作品を作品毎に分割し、貸出を開始した。図書室の本は原則家庭への持ち帰り不可となっているが、デイジー図書に関しては、保護者向けの貸出も開始し、夏休みや冬休み等を中心に家での読書の機会のひとつとなるように「家読(いえどく)しませんか!」のタイトルで、保護者にもお知らせを配布した。

また、学校PCのネットワーク上に400作品ほどを配信し、校内の学情PCからはデイジー図書にアクセスできるようにした。

いえどく 家読はいかがですか



DAISY 図書 (CD 版) を ご家庭向けに貸し出します

DAISY 図書とは?

DAISY (Digital Accessible Information System) という規格を用いた文章と音声、画像を組み合わせたデジタル録音図書です。見出しから検索して読みたい部分を読んだり、読み飛ばしたり、読んでいるところにハイライトをつけて、どこを読んでいるかわかりやすくしています。小さな文字が見えにくい、文字を真っすぐ追うのが難しい、本のページをめくるのが難しいといった障がいを持つ子どもたちにも読書の楽しみを広げたいとつくられたものです。

詳しくは、エンジョイ・デイジーの HP を確認下さい。

<http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/index.html>



どうやって見るの?

ご家庭のパソコンで見ることが出来ます。使い方は貸出の時にお伝えします。

どんな本があるの?

現在203作品あります。詳しくは、学校 HP 「図書室より」を確認してください。

<https://www2.osaka-c.ed.jp/higashiosaka-y/>

何冊借りれますか?

1回あたり CD 版 3 枚貸出します。



どれくらい借りれますか?

原則2週間貸出します。夏休み前、冬休み前に借りられた時は、次学期の始業式に返却下さい。

借りたい時はどうすればいいですか?

担任に貸し出し希望の DAISY 図書の題名を伝えてください。

授業で使用していたり、貸し出し中の場合は、ご希望に添えない場合もあります。

(図書室内デージー図書のレイアウト)



面展台の上に、デージー図書一覧表が貼ってあります。



300作品を薄型のCDラックに収納しました。



あいうえお順にCDを配架しています。

②児童生徒会の取り組み

週1回の図書の貸出だけでなく、児童生徒会の役員による移動図書（おはなし会）を実施した。昼休みに各学部のホールにて移動図書（おはなし会）を実施。（7月・9月・2月 計5回）準備が必要だが、概ね反応は良好だった。



児童生徒向け図書室アンケートまとめ（児童生徒会まとめ）

○使用状況について

授業では使った。

空いている時間にも行き、色々な本を見た。床に下りられるのがよかった。

お昼休みに使いました。

クラス活動で使った。学活で読書をした。

毎週行きました。他にもたまに行く人もいた。

たくさん行って、借りた本をクラスみんなで読みました。

iPadをたくさん使った。

じゅうたんでリラックスできた。

あまり行っていないが面白い本が多く、行ってみたい。

授業で使いたいが、混んでいる。

クラスではあまり使わなかった。

○図書室を今後どのように使いたいですか？

開館日を増やしてほしい 3

DVD 上映 大きいモニターを使って映画などの試写会してほしい 3

天井に投影する、プラネタリウムなどしてほしい 2

絵本読み聞かせ会をもっとしてほしい 4

生活課程向けのイベントをしてほしい

スヌーズレン・ブラックパネルシアターしてほしい

短編マンガ、短いお話の教材がほしい

DVD 資料を増やしてほしい

ディズニーの本がほしい

電車の本を増やしてほしい

料理の本がほしい

絵本がもっとたくさんほしい

紙芝居の新しいものがほしい

小説をもっと増やしてほしい

iPad の台数を増やしてほしい 2

飛び出す絵本も貸し出ししてほしい

広いところへ移動してほしい

③大阪府立中央図書館との連携

昼休みのおはなし会実施（7月・12月・3月）



本日、読み聞かせのボランティアの方に来校していただきました。昼休みの図書室には 20 人以上の子どもたちが集まり、短い時間でしたが、笑顔いっぱい、楽しい声いっぱいの時間を過ごすことができました。

7月5日(木)校長ブログより

おはなし会も回を重ねると、児童生徒もそれを楽しむだけでなく、終了後に「こんな本が読みたいのだけど、本を紹介してほしい」と中央図書館の方に相談をする場面も出てきた。レファレンスも受けて頂き、図書館で希望の本をピックアップしてもらい、後日団体貸出をして検討してもらうこととなった。

貸し出された本を実際に生徒が読み機会にもつながり、次年度の図書室の図書購入を検討するなど、おはなし会をきっかけとして大阪府立中央図書館との連携も深まりを見せている。

④学習での取り組み

<例1：高等部生活課程>



高等部生活課程の国語の学習で書いた「私の好きな本」生徒からの図書の推薦分を図書室前の掲示板に貼り、その図書に興味を持てばすぐに手にとってもらえるようにその図書を置いた。

<例2：中学部>

ブックフォレストのプロジェクトの集大成として、読書感想画コンクールへの作品応募を企画し、読書感想画コンクールの指定図書や自由読書参考図書などを購入した。

そして、その図書を利用し、中学部の生徒が読書感想画コンクールへの出品をする。



大阪府審査の結果、入賞(佳作)をし、本人の自信や読書意欲の向上だけでなく、周りの生徒や教員の読書や読書感想文・感想画コンクールへの意識や関心を高める事となった。

【題名：心の色】（いのちのハードル「1リットルのなみだ」母の手記）を読んで

(4) その他、3年間でボランティアに来て頂いた読み聞かせ団体等

①四條畷おはなし会(H28～H30 年度中学部おはなし会計 9 回、H29 年度実践報告会保育 1 回)



四條畷おはなしの会さんからお二人が「絵本の読み聞かせ」に来てくれました。今回のおはなしは絵本「へそもち」おはなし「かにかにこそこそ」「金のとさかのおんどりと魔法のひきうす」の三本です。擬音や、言葉遊びがあるおはなしだったので生徒に分かりやすい内容でした。音を聞いたり、絵を見て楽しんでいる様子がありました。また、物語の展開に思わず笑ってしまう子もいました。短い時間でしたが、とても有意義な時間でした。

平成 30 年 7 月 3 日 (火) 学校ブログより

②ねっこぼっこ (H28 年度中学部おはなし会 1 回)



『めっきらもっきらどーんどん』という題名の絵本を 1 つと、『小さい車、中くらいの車、大きい車』というおはなしを 1 つ、そして可愛いクマのぬいぐるみでのおはなしを披露してもらいました。ボランティアさんの迫力ある語りに、みんな見入っていましたよ。ひとりひとりの表情を見ながら、声の大きさに変化を持たせながら、3 つのおはなしを披露してくださり、最後は生徒ひとりひとりと握手して廻って頂きました。

平成 28 年 7 月 12 日 (火) 学校ボランティア便りより

③東大阪大学人形劇部ぶろっさむ (H28 年度中学部おはなし会 1 回)



東大阪大学人形劇サークルのお兄さんが 2 名来校され、人形劇を披露してくれました。みんな馴染みのある『うさぎとかめ』です。用意してくださった背景や、かわいいうさぎとかめの人形に、みんな興味津々でした。おだやかな口調でわかりやすく語りながら、人形の細やかな動きを演出してくれました。お兄さんの優しい人柄が滲み出ている人形劇に、みんな直ぐに引き込まれ、ゆったりとした気持ちで鑑賞することができました。

平成 28 年 12 月 13 日(火) 学校ボランティア便りより

④人形劇サークルきりりっこ (H30 年度中学部おはなし会 1 回)



きりりっこさんは楽しい音楽と語りで演じる人形劇を 2 本、紙芝居、パネルシアターなどを披露してくださり生徒たちも目を輝かせて見ていました。動きのある舞台や、力のこもった語りの声、面白い仕掛けなど生徒たちも興味津々！とっても良い経験になりました。

平成 30 年 12 月 11 日 (火) 学校ブログより

⑤朗読ボランティア「風」(H30 年度実践報告会保育 1 回)

朗読ボランティア「風」より 3 名の方が、実践報告会での保育の児童生徒たちへの読み聞かせボランティアとして来校されました。昔話 2 本の大型紙芝居、「おおきなかぶ」「おじさんのかさ」ではくり返しの言葉をみんなで一緒に言ったり、楽しいゆったりした時間が流れました。読み聞かせの間には春の歌を歌ったりもしました。



(5) 成果として

①授業時間における図書室利用

平成 27 年度 平成 29 年度 平成 30 年度
26.3% ⇒ 57.3% ⇒ 72% に上昇。

授業以外でも児童生徒の居場所作りに利用しているケースが多数ある。図書室開館日以外の昼休みの利用もある。

図書室の使用割り当て表(4 月段階)

平成 28 年度

	月	火	水	木	金
1					
2					中学部
3	小学部		小学部	小学部	小学部
4					
5	中学部	中学部			高等部 生活課程
6		中学部			高等部 生活課程

平成 29 年度

	月	火	水	木	金
1			高等部生活 課程 1 年	高等部生活 課程 1 年	
2			高等部生活 課程 1 年	高等部生活 課程 1 年	高等部 普通課程
3	小学部	小学部	小学部	小学部	小学部
4					
5	中学部	中学部			高等部 生活課程
6		中学部			高等部生活 課程

平成 28 年度は工事前後の片付けや図書の整理期間があったため、授業時間における図書室利用の割合は、前年度の平成 27 年度を記載している。

図書室の使用がない時間帯においては、別途使用表に記入し、部屋の予約をする事になっている。

平成 29 年度は、4 月当初は図書室利用を使用する学部課程が、例年より少し増えた程度だったが、空き時間帯の使用表にも記載が多数あり、授業時間帯における図書室の利用は倍増した。

使用調整の必要が出る時も多数あった。

平成30年度

	月	火	水	木	金
1	高等部生活 課程2年	高等部生活 課程1年	高等部生活 課程1年		高等部生活 課程1年
2	高等部生活 課程2年	高等部生活 課程1年	高等部生活 課程1年		高等部 普通課程
3	小学部	小学部	小学部	小学部	高等部 生 活課程2年 生2
4		高等部生活 課程3年	高等部生活 課程2年	高等部生活 課程2年	高等部生活 課程2年
5	中学部	中学部	中学部	高等部 生活課程	高等部 生活課程
6	高等部生活 課程3年	中学部	中学部	高等部 生活課程	高等部 生活課程

平成30年度からは、4月当初に授業時間帯における図書室利用を計画している学部課程が増えていることが、表からもわかる。

②昼休みの児童生徒会図書の貸出について

- ・毎火曜日昼休みに開室できた。
- ・来館者数、貸出数ともアップした。
(図書の貸出冊数)
平成27年度 ⇒ 平成30年度
124冊 ⇒ 302冊 (H31.1.31現在)
- ・バーコードを活用したシステムを導入した事で、書字の出来ない児童生徒も貸出業務に積極的に楽しんで参加できるようになった。

③学校教育自己診断：図書室は読書や読み聞かせのための環境が整っている。

		平成28年度	平成29年度	平成30年度
肯定的回答	保護者	38.0%	⇒40.8%	⇒42.5%
	教員	43.3%	⇒78.7%	⇒78.3%

(6) 今後の課題として

- ①デイジー図書についての地域の小中学校からの問い合わせは3年間で1件のみであった。
地域への発信を進め、校内外への活用につなげていく。
- ②おはなしの森プロジェクトは、絵本を中心としたものであったが、YA(ヤングアダルト)向けの図書の充実をどうしていくか。現在の図書室の広さに限りがあるため、第2図書室などの設置の検討などを検討していく。
- ③ボランティアを中心としたおはなし会は絵本中心の内容であり、YA(ヤングアダルト)にも向けた読書意欲を高める取組みも検討していく。
- ④学校図書館の活動は、司書教諭や校務分掌での係だけでなく、全職員で当たらなくてはならない。学校全体を巻き込んだ読書運動をどうやって展開していくかということが次の大きな課題となる。